

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 安全安心推進課	課長	小柴 正樹
----	---------------	----	-------

課の運営方針
<p>○業務遂行にあたっての基本的なスタンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民要望を常に考え、可能な限りこたえられるように努力する。 ・重点事業 窓口・電話接遇全般 ・目 標 市民の方には、迅速な対応を心がけ、市民目線の親切な対応をする。 <p>○課員に求める必要な心構え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当する職務の垣根を越え、協力しながら全体で事業等にあたる。 ・常に問題意識を持ち、業務改善を心がける。 ・現場を確認し迅速な対応を心がける。 ・課内、係内の意思疎通を密にし、誰もが同じレベルの処理・対応を行う。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪発生を抑止のためキャンペーンの実施 ・リース方式による防犯カメラの設置 ・駐輪、防犯指導のため、自転車盗難等防止対策事業を継続 	犯罪発生件数の減少	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪抑止関連キャンペーン7回実施 ・犯罪発生件数減少(前年比▲115件・▲11.7%、また自転車盗は▲89件・▲21.7%) ・防犯カメラを140基設置
自治振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献事業に対するくらしのポイント商品券配布 ・町会長連絡協議会と協働による町会加入促進リーフレット配布 	町会事業の参加促進と町会加入世帯数の増加	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンわらび市民運動にあわせ、くらしのポイント商品券(13,333枚)を全町会へ配布 ・英語、中国語、韓国語版町会加入促進リーフレットの配布 ・町会加入世帯数増加(前年比+313世帯、加入率は▲0.1ポイント)

交通安全推進		<ul style="list-style-type: none"> ・スケアードストレイト教育技法による交通安全教室の実施 ・交通安全意識啓蒙活動キャンペーンの実施 ・自転車用ヘルメット購入費補助事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・人身事故件数の減少 ・交通死亡事故ゼロ継続 ・自転車関連交通事故死傷者数の減少 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・スケアードストレイト教育技法による交通安全教室を第一及び第二中学校で実施 ・交通安全意識啓蒙活動キャンペーンを29回実施 ・人身事故件数の減少(前年比▲7件・▲3.6%) ・交通死亡事故発生ゼロ ・自転車関連傷者数減少(前年比▲4件・▲4.8%) ・自転車用ヘルメット購入費補助事業(105件・188,700円、2月末現在)
災害対策	災害予防対策事業	国土交通省から新たな洪水浸水想定区域図が公表されたことに伴う洪水ハザードマップの改定	年度内に改定し、平成30年4月に全戸配布する。	◎	平成30年4月に全戸配布済
	自主防災組織育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の災害対策用資機材購入に対する交付金の交付 ・自主防災組織リーダーの育成 ・自主防災組織ヘスタンドパイプ配備 ・避難所運営訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織による防災訓練の実施率100% ・蕨防災士会と協働して災害図上訓練、避難所運営訓練等を実施し、自主防災組織リーダーを育成 ・希望する自主防災組織に対しスタンドパイプを12台程度配備 ・学校体育館等を会場とした避難所運営訓練を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織による防災訓練の実施率86.5% ・蕨防災士会との協働事業「わらび防災大学校」を実施 ・希望する自主防災組織ヘスタンドパイプ12台を配備 ・避難所運営訓練を実施(平成29年11月19日中央小学校、平成30年2月18日中央東小学校)
	関係団体との災害協定	関係団体と災害協定を締結	災害発生時等における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について、関係団体からの協力を得る。	◎	平成29年7月18日 一般社団法人蕨戸田歯科医師会 平成30年2月21日 株式会社ゼンリン

<p>環境対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップの収集(エコキャップ運動、花苗交換事業) ・たい肥化による生ごみの有効活用(花苗交換事業) ・太陽光発電、太陽熱利用システム等、地球温暖化対策に寄与する設備または雨水貯留施設の設置に対し、補助金を交付。(地球温暖化対策設備等補助金交付事業) ・粗大ごみ収集券の委託販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ及び生ごみたい肥と花苗交換事業参加者の増加 ・再生可能エネルギーを活用した地球温暖化対策に有効な設備の普及促進 ・粗大ごみ収集券を民間店舗で販売する。(公共施設での販売は継続する。) 	<p>○</p> <p>【エコキャップ及び生ごみたい肥と花苗交換事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップと花苗交換事業参加者のべ1,411名(前年度比▲34人・▲2.4%)・北町公民館・中央公民館一時閉館のため微減。 ・生ごみたい肥化事業参加世帯50世帯(前年度比▲2・▲3.9%) ・広報紙、ホームページで参加者を募集しているが、参加者がフラワーセンターまで交換に行かなければならないため、大きな増加は見込めない。 <p>【地球温暖化対策設備等補助金交付事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数59件、4,050,000円、予算執行率81%(前年度比+3件・▲288,000円) ・粗大ごみ収集券の民間販売を7月より開始し、11月末日現在で2,786枚を販売した。
-------------	--	--	--

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 商工生活室	室長	小谷野 賢一
----	-------------	----	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいのあるまちづくり推進のため、商工会議所、まちづくり連合会、各商店会との連携、交流を深め、市民との協働に積極的に取り組む。 ・事務事業の円滑な推進のため、業務に関する情報の共有に努め、共通認識をもって仕事を進める。 ・既存の事務事業の見直しを行う。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
中心市街地活性化	中心市街地活性化基本計画の推進	中心市街地活性化基本計画に位置付けた各種事業を、中心市街地活性化協議会、中心市街地整備推進機構、各商店街等と連携しながら実施し、計画の着実な推進を図っていく。 特に、蕨宿“食”の交流拠点整備事業については、関係団体と連携し、事業計画案を取りまとめる。	○	<p>計画に位置付けた全42事業のうち、20事業が実施済みまたは実施中であり、進捗率は約47%。 29年度の主な取組みとして、「蕨宿手づくり伝承事業」では、蕨商工会議所、中仙道蕨宿商店街振興組合等による「双子織みらいプロジェクト」や「双子織フェスタ」の開催などにより双子織の普及を図った。 また、「既存施設活用・魅力発信事業」では、チャレンジレストラン「クアッカ」を、蕨銀座商店街主催の「子育て応援フェスタ」においては商店主による料理教室、市民音楽祭においては地元団体のミニコンサート、市の創業講座においては実践編の店舗とするなど、創業支援や商店街の魅力強化に活用した。 蕨宿“食”の交流拠点整備事業については、平成29年度に分館活用事業に関する調査を実施し、市民意向としては、気軽に利用できるカフェなどのニーズが大きい。マーケティング調査では、立地的に利用客を吸引しにくい場所であり、収支の試算も非常に厳しい結果であった。この結果も受け、整備事業と並行して検討してきたソフト事業を行っていくことで、まずは、恒常的に分館に足を運ぶ機会を創出し、その上であらためて、整備事業について検討することとした。</p>

<p>商工業活性化支援</p>	<p>①蕨ブランド認定品の発信 ②住宅改修資金助成(リフォーム助成)制度の実施 ③コミュニティビジネスの創業支援 ④商店街活性化事業に対する支援 ⑤空き店舗有効活用事業に対する支援</p>	<p>①蕨ブランド認定品を市内外に積極的にPRし、地域産業の振興を図っていくとともに、市のPRへつなげていく。 ②住宅改修資金助成(住宅リフォーム助成)制度を推進し、市内経済の活性化に努める。 ③蕨市内での創業を目指す者に対し、実体験をセットにした創業講座を開催する。 ④商店街が行う各種活性化事業を支援する。 ⑤蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、空き店舗の有効活用を図る。</p>	<p>○ ①蕨ブランド認定品について、年間を通じて市内の各種イベントへ出展したほか、「川口市産品フェア」、「彩の国ビジネスアリーナ2018」といった市外の展示会へ出展し、認定品や市のPRを行うとともに、事業者同士のマッチングの機会につなげた。 ②助成件数34件、助成額2,164,000円、市内業者の受注工事額56,707,130円の実績で、助成額の約26.2倍の事業効果があった。 ③地域創業を目指す女性を対象に、実体験をセットにした創業講座を開催し、チャレンジレストラン「クアッカ」や市役所ロビーでの店舗運営体験を行った。 ④蕨中央商店会の防犯カメラ設置費用の一部を補助したほか、蕨銀座商店街の「子育て応援フェスタ」、ぶぎん通り商店会の「ぶぎんノスタルジックわくわくフェス」、中仙道蕨宿商店街の「文化・伝統にふれあう蕨宿、にぎわい交流会事業」などに対する支援を行った。 ⑤空き店舗有効活用事業補助金の活用はなかったが、埼玉県、蕨商工会議所、蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携し、空き店舗解消に向けた空き店舗ゼロプロジェクト事業に取り組んでいる。</p>
<p>中小企業支援</p>	<p>市内の中小企業・小規模事業者の生産性向上の支援</p>	<p>制度融資の斡旋、利子補給、保証協会保証料補助を継続し、市内中小企業の経営安定化に向けた支援を行う。</p>	<p>○ 小規模事業者経営改善資金融資の利用3件に対し、利子補給を行った。</p>
<p>観光振興</p>	<p>機まつり等、毎年観光イベントの開催に加え、協働提案事業「わらてつまつり」の開催</p>	<p>苗木市・藤まつり(4月)、あさがお・ほおずき市(7月)、機まつり(8月)、宿場まつり(11月)を開催するほか、新たに観光事業に位置づけられた「わらてつまつり」を支援し、地域経済の振興、まちの魅力発信に努める。</p>	<p>◎ 機まつり等、毎年観光イベント、協働提案事業の「わらてつまつり」を計画どおり開催した。</p>
<p>農業振興</p>	<p>貴重な都市緑地の保全、安全安心な野菜の提供、自然と触れ合う場の確保、わらびりんごを活用した地域特産品づくりの支援</p>	<p>園芸祭、園芸品評会の開催。また、ファミリー菜園の整備を行う。 また、わらびりんご生産管理団体と協力し、わらびりんごの生産拡充わらびりんごサイダーの増産を図る。</p>	<p>◎ 園芸祭、園芸品評会等の農業振興事業を計画どおり実施した。ファミリー菜園については、菜園通路部分の一部に除草シートを敷くなどの整備を行った。 また、わらびりんご生産管理団体等と協力し、わらびりんごの苗木を増やしたほか、わらびりんごサイダーを約3,000本製造し、機まつりや農業イベント等で販売した。</p>

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 市民課	課長	筒井 洋二
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<p>・住民基本台帳事務、戸籍事務、国民年金事務について、適切な窓口サービスが提供できるよう職員研修を実施する。</p> <p>・個人情報を守る責務があることを職員一人ひとりが認識し、住民票の写し等の発行業務、問い合わせ等には十分注意を払い、個人情報の保護を徹底する。</p> <p>・窓口で、笑顔での挨拶や身だしなみ、言葉づかいや態度などに気をつけ、相手の立場に立って分かりやすい説明をすることにより、来庁した方に満足いただけるよう努める。</p> <p>・申請受付から手続完了までにかかる時間を短縮するため、効率的に業務を行い、窓口の混雑緩和を図る。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
個人番号カードの交付	マイナンバー制度導入に伴う、希望者への個人番号カードの交付を引き続き行う。	個人番号カードの交付が速やかに行われるよう努める。	◎	システムトラブルも無く、また月2回、休日交付日を設けたことで、速やかにカードの交付を行うことができた。
住民基本台帳事務における支援措置	ドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等の被害者保護のため、関係各課と連携を図り、支援措置対象者等の住所の漏洩を防ぐ。	支援措置対象者等の個人情報の保護を徹底する。	◎	ドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等に個人情報等が利用されないよう関係各課と密接に連携を行った。住民票の写しや戸籍の附票の写し等の取扱い、住所の問い合わせには応じない等、住所が漏れることのないよう徹底した対応に努めた。

<p>住民票等のコンビニ交付</p>	<p>平成29年6月から個人番号カードを利用して住民票の写しや印鑑登録証明書等をコンビニで取得できるコンビニ交付を実施する。</p>	<p>コンビニ交付のPRに努めるとともに、コンビニ交付を安全、確実に運営できるよう、システムの保守を行っていく。</p>	<p>◎ 地方公共団体情報システム機構と連携し導入試験を順調に行い、平成29年6月からサービスを開始した。このことにより、全国約5万店舗のコンビニエンスストアで住民票の写し等の証明類が取得できるようになり、市民の利便性の向上が図られた。その後も大きなトラブルも無く順調にサービスを行っている。</p>
--------------------	--	--	--

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 市民活動推進室	室長	樋口 裕一
----	---------------	----	-------

課の運営方針
<p>○市役所の総合窓口として来庁者に対し、常に相手の立場になり親切で丁寧な対応をする。</p> <p>○現状の業務に満足せず、常に業務改善を意識し、できる改善はすぐに実行する。</p> <p>○業務上の課題に対しては、室内全員で議論して解決する。</p> <p>○常に自己研さんに努め、質の高い業務を実行する。</p> <p>○市民活動を活発化し協働のまちづくりを進めるため、わらびネットワークステーションの充実を図る。</p> <p>○男女共同参画の推進体制の充実と意識改革を図る。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
			達成状況	取組み内容
協働のまちづくりハンドブックの作成	協働によるまちづくりを一層推進するため、市民向けに「協働のまちづくりハンドブック」を作成し、協働についての理解を深める。	NPO法人市民ネットを中心に、市民参画により「協働のまちづくりハンドブック」を作成する。	△	NPO法人わらび市民ネットとともに試案をわらびネットワークステーションで作成しているところであり、より簡潔で見やすく理解しやすいものとするよう、調整中である。
協働事業提案制度の実施	地域課題や社会的課題の解決のため、市民活動団体等が市と協働して行う公益的な事業の提案を募集し、審査のうえ採択された事業について補助等を行う。	創設された「協働推進月間」に合わせ、8月から協働事業の提案の募集を開始し、10月を目途に実施事業の採否を決定する。提案事業の増加を図るため、同月間内に昨年の協働提案事業の報告会や市民と職員の協働のまちづくり研修を実施する。併せて、制度の見直しについて検討する。	○	8月の「協働推進月間」に合わせて、平成30年度の協働事業提案の募集を開始し、10月31日に採否の決定をした。また、8月30日・31日に開催した市民と職員で考える「協働のまちづくり」研修で、28年度に協働事業を実施した5団体の報告会も併せて開催した。なお、制度の見直しは方向性を決めたところであり、詳細については調整中である。

男女共同参画啓発事業の実施	固定的性別役割分担を払しょくするための男女共同参画啓発事業を実施する。	公民館等と連携を図り事業を実施するとともに、男女共同参画推進員による地域での男女共同参画の推進に取り組む。	◎ 男女共同参画啓発事業として、第9回イクメン・料理男子フォトコンテストを開催し、応募期間7月1日～9月30日、応募数イクメン部門20点、料理男子部門9点、両部門の大賞、優秀賞、協賛賞の表彰式を行った。また、男女共同参画週間パネル展、パープルリボン展、男女共同参画セミナー・出前講座など開催し、男女共同参画の推進に取り組んだ。
配偶者暴力相談支援センター事業の実施	配偶者からの暴力を防止し、被害者の自立支援と保護を行うため、配偶者暴力相談支援センター事業を実施する。	被害者支援については、28年度よりスタートした「DV防止基本計画(第2次)」に基づき、きめ細やかな支援を継続する。また、被害者の情報の保護については全庁的な取り組みを徹底する。	◎ 配偶者暴力相談支援センター事業として、毎週月・水・木曜日に社会福祉士の資格を持つ女性相談員を配置し、DV防止基本計画(第2次)に基づいた、きめ細やかな支援に取り組んだ。また、被害者の情報保護については、DV防止庁内連絡会において、全庁的な取り組みを徹底するための研修会を実施した。
アクティブシニア社会参加支援事業の運営	元気なシニア世代の方々が共に地域を支える担い手として活躍できるまちづくりを目指し、ボランティアや市民活動などへ参加するきっかけとなる「アクティブシニアの社会参加支援事業」を実施する。	昨年度に開催したボランティア・市民活動団体を紹介する「見本市」、「体験会」を引き続き開催し、シニア世代の方々が地域を支える担い手として活躍できるまちづくりを目指す。また、仕事などで培った経験やスキルを講師として活かすための、つながるバンクスキルアップ講座や市民活動の情報発信の場となるコミュニティカフェ担い手講座も実施する。	◎ 埼玉県のアクティブシニアの社会参加支援事業の補助を受け、NPO法人わらび市民ネットへ委託し、7月22日にボランティア・市民活動「見本市」、9・10月に「体験会」を開催し、新たな担い手の発掘に取り組んだ。また、12・2月にスキルアップ講座、1～3月にコミュニティカフェ講座を開催し、つながるバンクの人材のスキルアップ及び地域活動の担い手の発掘、養成等に取り組んだ。

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 医療保険課	課長	白鳥 幸男
----	-------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務において、市民の求める要望に的確に対応し、質の高い市民サービスの提供に努める。 ・業務に必要な知識の習得に努めるとともに、課題が生じた場合には、その解決に向けて積極的に取り組む。 ・平成30年度から、国民健康保険の広域化が図られるため、的確に対応する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
健康診査事業	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の健康増進と医療費の抑制を図るため、生活習慣病の一つである内臓脂肪症候群の該当者及び予備軍の減少に着目した健診を実施する。 ○対象者 ①40歳以上の国保被保険者 ②後期高齢者医療被保険者 ※人間ドック受診者は除く ○実施時期 6月中旬から10月末まで 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率の向上（前年度よりも上昇） ・受診意欲を高めるため、啓発活動の実施 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ①国保 受診率（平成29年度） 41.0%（対前年度比 3.1ポイント増） ②後期 受診率（平成29年度） 49.0%（対前年度比 増減無し） ・特定健診早期受診キャンペーンの実施 ・受診勧奨の実施 ・納税通知書送付時の同封チラシでの周知 ・ポスター掲示（公民館、市内健診機関など）

<p>人間ドック等受診費補助事業</p>	<p>○疾病の早期発見及び予防により、市民の健康の保持増進を図るため、人間ドック、脳ドック及びPET検診の受診費補助を行う。</p> <p>○対象者 ①40歳以上の国保被保険者 ②後期高齢者医療被保険者 ※保険税(料)に滞納がないこと ※健康診査受診者は除く</p> <p>○補助額 人間ドック 20,000円 脳ドック 25,000円 PET検診 20,000円</p>	<p>・受診率の向上(前年度よりも上昇)</p> <p>・補助制度の周知</p>	<p>○</p>	<p>①国保 受診率(平成29年度) 3.8%(対前年度比 0.1ポイント減)</p> <p>②後期 受診率(平成29年度) 2.1%(対前年度比 0.5ポイント減)</p> <p>・保険証送付時の同封パンフレットで周知 ・ホームページでの周知</p>
<p>国民健康保険広域化への対応</p>	<p>今後埼玉県から示される標準保険税率と現行税率との差異や被保険者負担、市の財政状況、医療給付費や後期高齢者支援金の伸びの見込みなどを考慮し、国民健康保険税の見直しの検討を行う。</p>	<p>これまでの蕨市の政策を踏まえて賦課方式や税率を検討</p>	<p>◎</p>	<p>・県から納付金の試算結果が示される毎に、賦課方式や税率の検討を行った。</p> <p>・平成30年度の法定外繰入金、平成29年度当初予算額と比較して、1億2千万円程度低くなるため、税率改正は見送った。</p>
<p>蕨市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)策定</p>	<p>○国民健康保険法第82条に基づき厚生労働大臣が定める「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に示されている国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)を策定する。</p> <p>○計画期間 平成30年度～35年度</p>	<p>蕨市における健康課題を分析し、それに適した保健事業の取り組みを策定</p>	<p>◎</p>	<p>・第1期データヘルス計画と第3期特定健康審査等実施計画を一体的に策定し、ホームページで公表した。</p> <p>・被保険者の「医療費適正化」、「生活習慣病の発症予防と重症化の抑制」、「健康寿命の延伸」を目的とした。</p>
<p>第3期蕨市特定健康診査等実施計画策定</p>	<p>○高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づく特定健康診査等実施計画を策定する。</p> <p>○計画期間 平成30年度～35年度</p>	<p>生活習慣病の発症予防と重症化の抑制に向けた取り組みを策定</p>	<p>◎</p>	<p>第1期データヘルス計画と第3期特定健康審査等実施計画を一体的に策定し、ホームページで公表した。</p>

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 中央コミュニティ・センター	所長	加納 克彦
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
<p>○中央地区の各町会や各種地域団体、関係機関と連携を図り、コミュニティ活動を進める。</p> <p>○親切や公正な対応を行うとともに、さわやかな窓口を目指す。</p> <p>○安全できれいな施設管理を目指す。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
コミュニティ委員会活動	コミュニティかわら版の発行、青少年健全育成をはじめ、各種の関連事業、民生委員さんとの協働による地域の子どもの見守り活動などを行い、コミュニティ活動を推進する。	休館と事業実施との兼ね合い・調整を図りつつ、可能な範囲での各種事業の実施を探り、各地域団体の連携や住みよい地域づくりを図る。	○	約半年の工事休館により、中心事業のひとつである秋の「ハロウィンワールドinWARABI」は実施を見送ったが、3月に代替事業「みんなが主役の音楽祭」を行った。また休館中も毎週水曜日の学校周辺の下校時パトロールや「かわら板」発行などのほか、他施設の活用や時期の工夫などにより事業や会合を行い、休館の影響を抑えることができたと考えている。
青少年の健全育成	「親子ふれあい会」などを通して親子や地域住民同士の交流を図る事業を行う。	休館と事業実施との兼ね合い・調整を図りつつ、可能な範囲での親子や地域の交流などの事業の展開を探る。	○	「親子ふれあい会(グラウンドゴルフ大会)」は例年通り、また工事休館により行えなかった事業は時期や内容を変えて代替事業として実施することができた。

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 勤労青少年ホーム	所長	加納 克彦
----	----------------	----	-------

課の運営方針
<p>○さわやかな対応、安全、きれいな施設管理を行う。</p> <p>○職員間の情報を共有化する。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
勤労者福祉の充実	勤労青少年を対象とした余暇活動、趣味活動、仲間づくりの支援として、施設の貸し出しを行う。	多くの勤労青少年が利用できるように、情報の発信など工夫をしながら運営をする。年度中盤の休館期間の周知に努める。	○	登録者への施設の貸出を中心に行っている。公民館報やホームページなどを通じて定期的に施設のPRを行っている。登録者数はここ数年は現状を維持していたが、平成29年度は工事休館の影響で半分程度となった。

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 塚越コミュニティ・センター	所長	岡部 次男
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・各種住民サービスの質的向上を図りながら、創意、笑顔、協働、効率的な業務を遂行し、地域住民の親近感と信頼関係を育むコミュニティ・センターとする。 ・コミュニティ事業をとおして、地域住民の交流と連携の強化を進める。 ・塚越コミュニティ委員会の3つの重点目標(「安全で安心して住める地域づくり」、「地域で子どもを見守り育む」、「男女共同参画まちづくり」)を地域住民と協働で推進し、市民生活の場における人間相互の連携と融和の意識高揚を図り、地域の愛着を高める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
蕨市民公園桜まつり	地域住民が企画・運営し、各団体等の催しをとおして、市民交流と郷土愛を育む。	だれもが楽しめるイベントとして開催し、まつりをとおした交流の中から郷土愛を育むとともに、住民の地域デビューの契機を促す。	◎	開催2日間とも晴天に恵まれ、桜も満開で桜が舞い、多くの人で賑わった。イベントでは、地域住民の発表(東中吹奏楽部、お囃子、武南高校ダンス部、フラダンス、日本舞踊、輪踊り等)が行われ、地域住民同士の交流が図れた。
平和事業	平和に関する様々な催しをコミュニティ委員会が中心となって実施し、平和の大切さを地域ぐるみで考える。	地域住民及び団体が事業主体の一員として参加してもらい、平和に対する多彩なメニューを展開し、幅広い世代の方たちに平和の尊さや大切さを学び、平和を愛する心を育む。	◎	平和への願いをこめたミニコンサートや戦争をテーマにした「マヤの一生」を鑑賞し、また、蕨市民公園にある平和之母子像の清掃をとおして平和の尊さを学ぶことができた。
塚越コミュニティ花壇整備事業	塚越グラウンド周辺にある花壇を季節に合わせた花苗や球根等を植え、地域の環境美化を進めながら、住民交流を広げる。	地域の力できれいなまちが実現できるすばらしさを多くの方に体験してもらいながら、住民交流を推進させる。	○	コミュニティ花壇に花苗や球根を植え、綺麗な花を咲かせ地域の方々の目を楽ませた。花好きの住民により植えられ、地域住民同士の交流を図ることができた。

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 南町コミュニティ・センター	所長	坂本 旻
----	---------------------	----	------

課の運営方針
<p>・“「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン”や蕨市地域防災計画、町会や地域との協力・整合性を図りつつ事業を行う。</p> <p>・他コミセンを含め事業に関する情報等の収集・共有に努め、研修や打ち合わせ等を通して事業内容の工夫・向上を図る。</p> <p>・各種の課題には一つ一つ丁寧に取り組む。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
防災関連事業	近年は地震をはじめ豪雨など局地的・突発的な災害も起こっており、災害や防災についての要望や意識が高まっている。そうしたなか、各種の事業を通して、災害に対する意識や備えの大切さ、啓発などに取り組む。	南町でも、防災をはじめとする「安心・安全」への市民からの意識や要望は根強いものがある。地域の各種団体・組織などとも協力しながら、コミュニティ委員会を中心に防災などの安心・安全に関する事業に取り組む。	◎	防災訓練は町会ごとに適宜行っているほか、3月13・18日には「女性のための防災講座」と題して防災講演会を開き、両日で80名の女性が参加した。また、並行して南町地区防災計画の策定作業を進めており、町会の自主防災会や地域のリーダー的役割を担う立場の方々を中心に、防災に対しての意識・関心の高まりが図れたものと感じている。

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 錦町コミュニティ・センター	所長	星野 尚子
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・窓口第1優先、さわやかで親切、正確で公平な受付 ・安全・安心・きれいな施設運営 ・錦町コミュニティ委員会を中心として住み良い地域社会の構築

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
コミュニティ委員会活動	コミュニティ委員会活動を通じて錦町地区の関係団体、関係機関との連携を図る。	地域団体や関係機関との連携を深め、コミュニティ委員会の活性化を図る。	◎	コミュニティ委員会と地域団体と連携した事業の開催。また、地域企業から支援・協力ををいただくなど連携を図った。
コミュニティ事業の推進	わらびりんごの普及や啓発及び花と緑の推進員活動など各種事業を通してコミュニティの醸成を図る。	コミュニティ委員会と地域住民、各団体と連携して住民主体の事業を行い、地域力の発揮と拡大を図る。	◎	各事業を通して地域の連携と愛着を高めることができた。
青少年健全育成事業	ジュニアリーダー会の育成、小学校3年生一泊キャンプなど、錦町地区青少年健全育成推進委員会と協働して地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。	ジュニアリーダー会の活動を支援し、青少年の健全育成を図るとともに、社会活動の場の提供を促進する。	◎	ジュニアリーダー会を中心とした事業を通して地域との連携を図り、子どもたちの自主性や協調性を身につけるとともに、地域参加へのきっかけをつくることができた。

平成29年度 課長方針

部課	市民生活部 北町コミュニティ・センター	所長	鈴木 啓文
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
<p>・地域に親しまれるよう、親切・丁寧な住民サービスに努め、気軽に利用してもらえよう、明るくきれいなコミュニティ・センターとしての環境整備を図る。</p> <p>・「コンパクトシティ版」将来ビジョンに掲げるとおり、コミュニティ活動への支援をはじめ、各町会や婦人会・子ども会など、地域力を活かしたまちづくりを進める。</p> <p>・公民館・体育館・児童館からなる複合施設である当センターの特性を最大限活用し、施設全体でバランスの取れた事業を実践する。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			平成29年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
春が来たコンサート	コミュニティ委員会をはじめ、北町地域の皆さんが企画するコンサートを通して、新小学1年生児童をお祝いする。	北町地域から新しく小学1年生になる児童を地域住民の手で祝い、触れ合いあふれる地域づくりを進める。また、児童が地域を身近に感じることで、地域活動に参加するきっかけをつくる。	○	コミュニティ委員会をはじめ、地域住民で組織する実行委員会が北町地域の新小学1年生を祝う事業。平成29年度は3月25日(日)に開催。参加者は新小学一年生と保護者等を合わせ650人(うち新小学1年生は38人)。出演団体は北小音楽クラブ、北町公民館利用団体等4団体。
花いっぱい活動	北町コミュニティ広場の一角にある花壇に、年間を通して様々な花を植える。	地域の憩いの場を確保するとともに、防犯等の二次的効果を生み、住みよい地域づくりを推進する。	○	月1回定期的に花壇の整備を行っているほか、北コミプラザの補修等も積極的に行うなど、地域の環境美化に努めた。
北町コミュニティまつり兼北町地区生涯学習フェスティバル	公民館・体育館・児童館の利用団体や子ども会、地域女性団体等が一体となって、日頃の学習成果発表会や模擬店出店、子ども向けイベント等を行う。	お祭りを通じて地域の活性化を図ることはもちろんのこと、北町地域の様々な方・団体が一堂に会し、イベントの企画・運営をすることで連携を深め、地域コミュニティの強化を図る。	○	コミュニティ委員会を中心に実行委員会を組織し、地域の活性化や生涯学習の推進を図った。平成29年度は、7月9日に北町コミュニティ・センターのオープニングイベントと併せ、運動系団体の発表を中心に開催し、参加者は1,500人であった。また11月12日には文化系活動団体の発表を中心に開催し、参加者は2,720人であった。